



TITLE:

京大広報 No. 120

AUTHOR(S):

京都大学広報委員会

---

CITATION:

京都大学広報委員会. 京大広報 No. 120. 京大広報 1976, 120: 543-544

ISSUE DATE:

1976-01-23

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/209571>

RIGHT:

# 京大広報

No. 120

京都大学広報委員会

## 京都大学埋蔵文化財調査室の閉鎖について

京都大学構内における埋蔵文化財を包蔵する「周知の遺跡」として指定されている地域(すなわち北部構内および教養部構内)における建設工事に對しては、文化財保護法第57条第1項、第57条の2第1項に基づいて、工事に先立ち、文化財調査が義務づけられている。京都大学においては、昭和47年以来、建設工事の行われる当該部局が事務的な窓口となつて、文学部考古学教室の指導と協力のもとに発掘調査を行つてきた。

しかし、構内遺跡調査のためのこの体制については種々の不備が認められるに至つたので、これを是正して調査体制を明確にするために、昭和50年3月18日付けをもって「京都大学埋蔵文化財調査室要項」が制定され、これに基づいて埋蔵文化財調査室(以下「調査室」という。)が独立の機構として新たに発足した。

その後この調査室によって、教養部校舎建設予定地の発掘調査が同年7月と8月に行われた。しかしこの間を通じて、調査室には雇用問題をめぐる紛争が続き、このため特に同年10月に入ってから、調査室の機能が麻痺し正常な業務が行えない状態に立ち至つた。総長は、このような状況にかんがみて、今後調査室の正常な管理運営を行うことが不可能であると判断し、責任者としてこのまま放置しえない事態に達したとの認識のもとに、やむなく調査室の閉鎖を決定し、同年12月15日、調査室は閉鎖されたものである。

## 関西地区大学セミナー・ハウスについて

このたび、大学の教官と学生が小グループで起居を共にし、静かな環境の中でセミナーを実施するための施設として、関西地区大学セミナー・ハウスが、近畿地区の国・公・私立の20大学の協力により神戸市北区道場町生野字ロクゴウに開設された(付図参照)。

このセミナー・ハウスは、食堂・売店・浴室などを備えた本館をはじめ、セミナー館、教師館、宿泊棟(8人用・12人用・28人用あわせて17棟、192人収容)など20の建物からなっている。

利用期間は、2泊3日が原則になっているが、場合によっては、1日限りまたは1週間以内の期間で許可されることもある。また、利用料金は会員大学である本学の教官・学生の場合、次のようになっているが、このほかに、冬期には暖房費が加算される。

### セミナー室 無 料

|     |   |    |         |    |        |
|-----|---|----|---------|----|--------|
| 宿泊室 | { | 学生 | 1室2人の場合 | 1人 | 800円   |
|     |   | 教官 | 1室2人の場合 | 1人 | 1,000円 |
|     |   |    | 1室1人の場合 |    | 1,300円 |

食事(定食)朝食250円、昼食400円、夕食550円  
(定食以外の料理も注文出来る。)

利用申込については、セミナーを実施する教官が所定の申込書に記入し、利用日の6か月前から3日前の間に財団法人関西地区大学セミナー・ハウス大阪事務局(大阪市北区常安町36 大阪大学事務局内、電話06-443-5061内線342)へ直接申込むことになっているが、詳細は直接申込先に照会されるとよい。

(庶務部)

付 図

交通関係

- (1) 国鉄（福知山線）道場駅下車 2 km 余，徒歩約 30 分
- (2) 神戸電鉄（三田線）二郎駅下車 2 km 余，徒歩約 30 分
- (3) 阪急宝塚駅下車，有馬行バス（下山口経由）にて下山口下車，さらに三田行バスにて平田下車，徒歩 700 m，約 15 分
- (4) 中国縦貫自動車道路西宮北 I.C. より車にて約 5 分（徒歩 40 分）
- (5) 中国縦貫自動車道路バス（国鉄・神姫）は大阪駅，新大阪駅，千里ニュータウンから乗車できるが（1 時間ごとに各時 30 分）長尾駅に遠しか下車できない。長尾より 6 km

建物配置図

